



持てる力を全て出し切って

9月6日（木）に東山霊園周回コースを利用して、郡山市中学校駅伝競走大会が開催されました。朝は少し蒸し暑く、また昼近くには激しい雨が降る厳しいコンディションの中、特設の男子・女子チームともに、朝や放課後の部活動前の時間と夏休みを利用した練習の成果を十分に発揮し、最後まで諦めないで各自のベスト記録を目指し、必死になって襷を繋いでくれました。

男子は17位、女子は21位という成績でしたが、どの走りも襷に込められたそれぞれの思いと支援していただいた方々への感謝の気持ちも併せて、自分の限界の力を出し切り繋ぐことができたと思います。これまでのご支援とご協力に心より感謝申し上げます。



《激走を振り返って》



女子1区 古川瑞姫 さん



女子2区 加藤 嶺 さん



女子3区 滝田紗希 さん



女子4区 高橋奈愛 さん



女子5区 籠島凜子 さん



男子1区 遠藤誠悟 さん



男子2区 渡部奏斗 さん



男子3区 篠木春翔 さん



男子4区 高橋陽輝 さん



男子5区 鳴原皇聖 さん



男子6区 津守航大 さん

この他に、女子は遠藤真夜さんと高橋莉音さん、男子は國分奎史さんと渡部晴貴さんが、補欠として選手をしっかりサポートしました。皆さん、お疲れ様でした。次年度の走りに襷を繋げた皆さんに心より感謝です。

《大会を終えて》

男子チーム代表 遠藤 誠悟 さん（男子第1区）

僕は駅伝大会の前日、「うまい走りができるのか」、「チームの足をひっぱらないか」ととても心配でした。1区というとても重要な役割を任せられ全力で走れるか不安でした。ですが、いざ走ってみると、不安が自信に変わっていきました。初めて試走に行った時よりも、気持ち的に楽に走れました。日々の練習の成果を出せたかなと思います。

これまでの新田先生、永久保先生、大塚先生の指導のおかげで、自分の実力を出し切ることができました。最後の駅伝大会で自己ベストで走りきれたので、とてもうれしかったです。

女子チーム代表 籠島 凜子 さん（女子第5区）

私が中学生最後の駅伝大会に出て感じたのは、仲間の大切さです。結果は思うような記録が出ず、とても悔しい思いをしました。しかし、一人一人が全力で走り切り、走り終えて疲れ切った体であるのにも関わらず、全力で応援していたのがとても心に残りました。

破天荒な天気の中、互いを強く思い走っている姿は、本当に格好よかったです。最後に応援してくださった皆さんありがとうございました。この駅伝大会で一生の思い出を残すことができました。

監督 新田 朱理 先生

6月中旬から、朝と放課後の時間に練習が始まり、約2ヶ月半、暑い夏休み中も生徒達は一生懸命頑張っていました。最初はなかなかチームとしての盛り上がりがなかったのですが、日々の練習や試走を通して、本番近くには、男女ともお互いに励まし合い良いチームとなっていきました。本番では、土砂降りの場面もありましたが、他の学校の選手にくらいつきながら、多くの生徒が自己新記録を出せたこと、とても嬉しく思います。来年はより多くの生徒と駅伝ができること、楽しみにしています。

ご支援をいただきました多くの皆様に、心より感謝を申し上げます。